

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名 北海道

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	幌延町立幌延小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7	11
児童数	10	12	17	22	23	12	2	98	

研究の概要

1. 研究主題

「生き生きと活動する幌小っ子の育成」
 ~ 「生きる力」としての学力を確かに身に付ける指導を通して ~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

1、2年 生活科
 ・基礎・基本の確実な定着を図るため。
 3～6年 算数科
 ・理解や習熟の状況に個人差がやすい教科であるため。
 5～6年 理科
 ・児童の科学的な思考力の向上を図るため。
 3～6年 総合的な学習の時間
 ・研究実績を生かし、教科で培った力を発揮して学び方の充実を図るため。

(2) 年次計画

平成15年度
 テーマ
 指導方法・指導体制の工夫
 研究の見通し
 児童の実態を把握し、生活科部会、算数理科部会及び総合的な学習部会それぞれのテーマを決定して授業改善を図る。
 研究の内容・方法
 ・TT指導体制の確立
 ・TT指導パターンの確認
 ・児童の実態把握
 ・研究授業の実施
 ・授業研究の評価方法の検討と工夫
 ・他のフロンティアスクールの実践環流
 ・15年度研究の成果や課題の報告と修正の確認
 ・16年度の実践計画立案

平成16年度
 テーマ
 指導と評価の一体化を目指した工夫改善
 研究の見通し
 各教科と総合的な学習の時間との関連付けを図った授業の工夫改善を図る。
 研究の内容・方法
 ・年間指導計画の修正と評価規準の活用
 ・児童の実態把握
 ・公開研究会の実施
 ・研究のまとめ

(3) 研究推進体制

学校の教育目標 「かしこく やさしく たくましく」		
研究主題	「生き生きと活動する幌小っ子の育成」 ～「生きる力」としての学力を確かに身に付ける指導を通して～	
研究仮説	算数科や理科、生活科・総合的な学習の時間での授業において、指導方法や指導体制を工夫することにより、一人一人の子どもが「生きる力」としての学力を身に付けることができるであろう。	
視点 1	視点 2	
基礎・基本の確実な定着を図る教科等の指導方法及び指導体制の工夫 ・児童一人一人の思いやよさを生かす多様な学習展開の工夫 ・学習状況に応じたきめ細かな指導を図る学習形態の工夫 ・教師の専門性を生かす指導体制の工夫	確かな学力を育む総合的な学習の時間の計画と指導の在り方 ・4年間を見通し、学習をスパイラルに深める総合的な学習の時間の指導計画の作成 ・各教科との関連を図った総合的な学習の時間の指導の工夫	
研究内容 1	研究内容 2	
・コース別やグループ別の学習の実践 ・学習状況に応じた補充的な学習や発展的な学習の導入と指導方法の開発 ・教科担任を中心とした複数の教師による指導体制の工夫 ・TV会議システム等の情報機器や地域素材や学校外の専門家の活用の工夫	・4年間の発達段階に即し、国際理解や情報、福祉、環境等の内容を踏まえた指導計画の作成 ・学習のスキルの向上を図るための各教科等との関連の明確化	
生活科部会 研究テーマ 体験したことをまとめたり、発表したりする活動を通じた表現力を高める指導方法の工夫	算数科・理科部会 研究テーマ 学習意欲や思考力を高める指導体制の工夫	総合的な学習の時間部会 研究テーマ 問題解決の能力を高める指導体制の工夫

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

<p>TT指導に対して、子ども達は好意的に受け入れている。</p> <p>・9月実施のアンケートより 「TTの学習は好きですか、きれいですか」</p> <table border="0"> <tr> <td>3年生 算数</td> <td>「好き・どちらかといえば好き」</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>4年生 算数</td> <td>「好き・どちらかといえば好き」</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td>5年生 総合</td> <td>「好き・どちらかといえば好き」</td> <td>96%</td> </tr> <tr> <td>6年生 総合</td> <td>「好き・どちらかといえば好き」</td> <td>92%</td> </tr> </table> <p>指導体制が整い、各部会で1、2回の研究授業を実施することができた。 授業者の授業仮説（手立て等）や参観者の研究授業評価項目を明確化することにより、研究協議において効率的に成果や課題をとらえることができた。 習熟度別のコース選択を子どもに任せる機会を与えることにより、自分の学習を見つめ直すことができるようになった。</p>	3年生 算数	「好き・どちらかといえば好き」	100%	4年生 算数	「好き・どちらかといえば好き」	91%	5年生 総合	「好き・どちらかといえば好き」	96%	6年生 総合	「好き・どちらかといえば好き」	92%
3年生 算数	「好き・どちらかといえば好き」	100%										
4年生 算数	「好き・どちらかといえば好き」	91%										
5年生 総合	「好き・どちらかといえば好き」	96%										
6年生 総合	「好き・どちらかといえば好き」	92%										

2. 今後の課題

- ・児童一人一人の状況を適切に見取る評価方法の工夫。
- ・指導形態等の工夫改善
- ・補充的学習や発展的学習における教材開発
- ・総合的な学習の時間の年間指導計画及び評価規準の改善。
- ・児童の学習状況を適切に把握するための授業研究の工夫。

学力等把握のための学校としての取組

- ・学力テスト[NRT]の実施。(11月)
- ・児童の学習についての意識調査。(アンケート方式 2学期 3学期)

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- * 16年度に公開研究会実施。(管内規模、フロンティアスクール対象)
- * 幌延町教育研究所に対するフロンティア事業の説明。
- * 保護者、教育委員会、学校評議委員等への報告。
- * 教育課程改善協議会における発表。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上

【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他(総合的な学習)

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無